

東京の組織目標 8000名!

祭典会場は「有明コロシアム」を予定しながら、アリーナ席を設けず（アリーナ全体を舞台とする構想の場合）観客席のキャパシティは一万名なので、組織目標は全体では一万名を目標としました。

2月の全国実行委員会にて全国の目標を2千人から3千人で提起する。
東京の目標8000名は確認しました。

1000人実行委員、727人を達成!

ひとり一人が主催者意識を持って祭典準備に取り組むことが祭典成功の要です。

四月から取り組んできた1000人の実行委員登録も727人を達成。東京のうたごえ会員数を上回る数になりました。年内には是非、1000人を達成して新年を迎えましょう。

賛同金目標 650000円(650万円)!

東京の祭典会場費や舞台設営費には莫大なお金がかかりました。私達が東京以外の祭典に参加するには5〜6万円の費用を掛けて参加していたと思います。来年は地元で旅行費用が掛からないのですから思い切って訴えていきたいと思います。

年内に200万円が目標です。現在9200円が寄せられています。

祭典記念グッズを準備しています

東京の銘酒「澤の井」ブランドの60周年記念のお酒や、タオルマフラー、エコバッグなどの祭典グッズの他に、50周年事業で発行した「うたごえ半世紀の10枚組CD」復刻版を150000円で販売します。運動を広げながら財政活動にもなります。周りの方に声をかけさせて下さい。

2008年日本のうたごえ祭典in東京

までのスケジュール・メモ

- 9月 第1回祭典実行委員会
- 第1回祭典運営委員会
- 10月 第2回祭典運営委員会
- 東京のうたごえ合唱発表会
- 11月 第3回祭典運営委員会
- 日本のうたごえ祭典in奈良開催
- 第4回祭典運営委員会
- 12月 第2回祭典実行委員会
- 企画第1案提案
- 組織目標提案、チケット代等検討
- チラシ、グッズ提案1次チラシ発表
- 1月 第5回祭典運営委員会
- 各地区、分野祭典実行委員会立上げ
- 2月 うたごえ60周年レセプション(9日)
- 第6回祭典運営委員会
- 日本のうたごえ総会(9.10.11日)
- 全国・祭典実行委員会.(11日)
- 全国組織目標提案
- チケット代確定、賛同金全国提案
- 3月 第7回祭典運営委員会
- 1000人実行委員のつどい(29日)
- 4月 第8回祭典運営委員会
- 東日本合唱講習会(19.20日)
- 各地で練習会もスタート!
- 本チラシ作成
- 祭典歌集発売
- 5月 メーカー、平和行進
- 9条世界会議(4.5日)
- 第9回祭典運営委員会
- 第3回祭典実行委員会
- 6月 第10回祭典運営委員会
- 7月 第11回祭典実行委員会
- 第4回祭典実行委員会
- 8月 第12回祭典実行委員会
- 原水禁世界大会
- 保育合研(東京)
- 9月 第13回祭典実行委員会
- 第5回祭典実行委員会
- 東京各地区合唱発表会
- 10月 第14回祭典実行委員会
- 東京のうたごえ合唱発表会(5日)
- 11月 第15回祭典実行委員会
- 第6回祭典実行委員会

日本のうたごえ祭典in東京開催!

60周年記念2008年 日本のうたごえ祭典in東京

音楽会企画概要

11月22日(土) 会場 多摩パルティ
全国江戸やっこ祭り

「お江戸のにぎわいコンサート」
全国の郷土芸能のステージ、江戸のお囃子をモチーフの創作太鼓を製作中。

11月23日(日) 会場 日比谷公会堂
うたごえ60周年記念音楽会

第1部
「うたごえの60年と作曲家達〜明日へ」
ほか男声合唱・日本のうたごえ合唱団等

第2部
交響曲「五月の歌」指揮・外山雄三予定

11月24日(月・休)
会場 有明コロシアム 予定
うたごえフェスティバル(仮称)

第1部
「昨日を今日につなげるために」
郷土芸能・東京大空襲〜うたごえの誕生

第2部
「今日を明日に手渡すために」
いのち・はたらく・日本からアジアへ
あなたから世界へそして未来への舞台

奈良祭典でもテロ特措法反対の 集会でもハッピーと横断幕でアピール!

大音楽会のフィナーレにブルーと並んで東京祭典をアピール!

うたごえ新聞 提供



オリジナルコンサートでは 白い風・青梅麦笛
・調子江合唱団の3団体でのアピール!

実行委員会の発言から

▼いのちの分野に介護をぜひ入れてほしい、今、介護の組合ではうたごえを取り入れてほしいと話しをしている。過密労働など訴える内容は沢山ある。

▼練馬には1つしか登録サークルが無い様で、10数人のサークルだが1人が10人誘って100人くらい組織することは難しくなさそうだが歌って参加するには企画に工夫を9条の会と一緒にイメージコンサート準備している。

▼神奈川から参加したが、1000名を越える実行委員会を体感して東京の意欲を感じる。共に成功させよう。

▼その他、横断幕も各地域で作って宣伝する、歌いたい歌の提案など積極的な発言を戴きました。

池辺総監督と懇談

来年3月29日(土)

1000人実行委員と交流のつどい

「日本のうたごえ祭典in奈良」大音楽会終了後の11月24日夜、来年の祭典「総監督」をお引き受け頂いた池辺晋一郎先生との懇談を行いました。出席したのは、杉森企画委員長、島袋副運営委員長(記念音楽会責任者)、大熊企画事務局長、轟運営委員長、高橋副運営委員長、大井事務局長、うたごえ新聞社三輪編集長、神戸市役所センター合唱団団長の田中さん。

「60周年記念 2008年日本のうたごえ祭典in東京」の開催日程、予定会場、開催の基本方針を池辺先生にお伝えし、各音楽会の企画の方向をお話する。先生は「なかなかいい企画じゃないですか。江戸の伝統芸能や文化を表現するのこ、東京大空襲を描くこと、うたごえの歩みを綴ること、賛成です」と支持して下さいました。「東京大空襲の場面は、爆音が響いて人々が逃げ惑う」といういかにも、の表現は避けたいね」「この祭典と併せて平和や憲法を描いた映画を同時に上映する企画も持っていますか」

「記念音楽会は、軽妙な語りや演技でつないでいきたいね。この時代にはこんな事件があった、その時うたごえは」と、気がついたらうたごえのあゆみを作品で知るのが出来た、というような。演技力のある役者を用いた方がいいでしょう。林隆三くんはどうか?連絡先も知っているし」などと、次々にアイデアを出して下さいました。そして、「大音楽会、フィナーレで歌いかわすソングを先生に書いていただきたいと思います。ぜひ「明日へ!」というテーマで」という杉森企画委員長からお願いに、池辺先生は「タメとはおっしゃいませんでした。祭典テーマソングになるような素敵な歌を期待したいですね」

また、池辺先生とともに1000人の実行委員が交流する「つどい」を持ちたいという提案も快諾して下さい、3月29日(土)の日程を決めました。池辺先生と一緒に歌って、楽しんで、元気に祭典運動をすすめる節目にしていきたいです。みなさんからの「池辺先生この歌を歌いたい」「先生に伴奏して頂いて歌う」などのご要望や企画提案をお待ちしております。